

令和4年度事業報告書

NPO法人日本語とエクステンジの会

I 事業期間

令和4年10月1日～令和5年9月30日

II 事業の成果

今年度も前半はコロナ感染症の為、対面クラスを縮小して開催。オンラインクラスを中心にクラスを開講。現在は第2、4、5月曜日はオンラインクラスと対面クラスを両方開催。コロナ禍で一時は教室運営も危ぶまれた中、日本語教室や語学交換学習グループ、その他の言語学習者向けにオンラインレッスン開催を継続、大阪での対面クラスのみ開催だったクラスが従来では参加できなかった海外帰国メンバーや日本各地からの参加があり、教室開催を開催している。

また今年度も、昨年度に引き続きウクライナ避難民の方の日本語学習支援を日本財団の助成金が採択され開講。今期は7名の方を受け入れて、就労支援も念頭に、JLPT対策やビジネス日本語など週11クラスを開講。現在も日本語クラスをオンラインで実施中である。また受講者による、ウクライナの近況を知っていただきたいとの思いから、大阪市開催のネットワークサロンでは群馬からオンラインでウクライナのゲストを招いて報告会兼交流会を開催。ゲストが用意したスライドには、未だ戦争も終わらず破壊された街の画像に涙する参加者もいた。しかしながらクイズコーナーでは一転、盛り上がり、一般の方との良い交流の場となった。また総合フェスタでは毎年恒例の語学ミニレッスンとフリーマーケットを開催。限られたスタッフの中、英語中国語ヒンディ語の3言語のみの開催となったが好評であった。これらを通じて日本人・外国人が共生できる社会の一役が担えられたのではないかと思う。次年度は更なるイベント交流会の再開、対面クラスとオンラインクラスのハイブリッド開催での優位性を積極的にアピール、またウクライナの方への日本語支援及び就労支援は日本財団からの支援金が80%に減ってしまう関係で、継続するかは受講生の方々から聞き取り調査をして、検討していく予定である。

III 事業の実施状況

1 特定非営利活動に係る事業

- (1) (事業名) 語学教室の運営及び語学交換学習運営事業
(内容) ・在日外国人向けの日本語教室の運営
・日本人向けの語学教室の運営
・日本人が日本語を、外国人が母国語をそれぞれ教え合いながら、語学習得及び各国の文化風習を学ぶ「語学交換学習(ランゲージエクステンジ)」の場の提供活動
(実施場所) 主たる事務所所在地及び大阪市内等
(実施日時) 通年
(事業の対象者) 日本語を学びたい外国人・外国語を学びたい一般市民合わせて約100名
(収益) 2,442,534円
(費用) 2,306,696円
- (2) (事業名) 定住外国人の日常生活支援事業
(実施場所・実施日時) 準備期間のため実施せず
- (3) (事業名) 国際親善交流イベント開催事業
(内容) 大阪市開催のネットワークサロンや総合フェスタに参加
(実施場所) 主たる事務所所在地及び大阪市内等

(実施日時) 通年
(事業の対象者) 国際交流に関心のある一般市民
(収 益) 5,000 円
(費 用) 3,000 円

IV 社員総会の開催状況

通常社員総会

(開催日) 令和4年12月30日
(場 所) NPO法人日本語とエクステンジの会 事務局
(社員総数) 15名
(出席者数) 8名(うち委任状出席者3名、書面評決者1名)
(内 容) 第1号議案 第2期の事業報告及び決算報告に関する件
全議案、審議の結果、全員一致で可決承認

V 理事会その他の役員会の開催状況

理事会

(開催日) 令和4年12月23日
(場 所) NPO法人日本語とエクステンジの会 事務局
(内 容) 第1号議案 業務の執行状況及び計算書類決定に関する件
第2号議案 通常社員総会招集に関する件
全議案、審議の結果、全員一致で可決承認

理事会

(開催日) 令和5年7月12日
(場 所) NPO法人日本語とエクステンジの会 事務局
(内 容) 第1号議案 業務の執行状況報告に関する件
第2号議案 第3期の決算見込報告に関する件
第3号議案 第4期の事業計画及び活動予算決定に関する件
全議案、審議の結果、全員一致で可決承認